



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校

令和2年 1月27日

「つなぐ」「力と心」そして「琢磨」

校長 菅原 透

新年を迎え、本校では3学期がスタートしました。弱めの冬将軍様は到着済みですが、記録的な少雪により白鷹スキー場でのスキー教室は中止となっています。31日の6年歳王スキー教室だけは良い思い出ができるようにと願います。

さて、3学期の始業式で、子ども達に伝えたこと…。それは「つなぐ」です。3学期は当該学年の締めくくりとともに、次学年の「0（ゼロ）学期」と言われ、準備の期間でもあります。まとめの勉強と自らの生活を高めることで「つなぐ力をつけよう」と話しました。そこで大切なのは「つなぐ心」。本校は「琢磨校」。校是「琢磨」をもとに、『た』かい目標をもって「ス『く』ラム組んで」「『ま』なび続ける」日々にしていこうとも伝えました。スクラムは、ラグビーワールドカップで随分メジャーになりました。メンバーが一丸となって相手に立ち向かう力強い姿が印象的です。“塊”となって挑むことが肝要と聞いたことがあります。一人一人の努力はもとより、力を合わせることで、競い合うこと、支え導き合うことで持てる力は増強します。まさしく、“切磋琢磨”を具現する姿でしょう。短い3学期ですが、つなぐ力とつなぐ心を塊となって、確かに育んでまいります。

新年にあたり、各地区新春交流会のご案内を頂戴し、出席させていただくことができました。地域の方々と新年を祝い、新たなスタートが切れたことを本当に嬉しく思いましたし、皆様方のエネルギーの大きさに感動してまいりました。その席上、嬉しいお話をお聞きしました。ひとつは、子ども達が地域でも元気にあいさつしているとのこと。通学班によって偏りはあるのかもしれませんが、子どものエネルギーで地域が温くなるのは最高です。そしてもうひとつ。本校教職員が地域の皆様と明るく接しているとのこと。子どもを教え育むことは教職員の使命ですが、自らの姿で方向性を体现することが基底をなします。子どもへ「～しなさい」だけでなく、自分で範を示すことが大事です。地域の皆様に心地よく感じていただける接遇ができているとなれば、教育は本物に近づけると 생각합니다。大人バージョンの「つなぐ力とつなぐ心」かもしれません。お互いに、見て、学び、助け、支え合う…。これは、大人バージョンの「琢磨」でしょうか…。嬉しい新年のスタートとなりました。エネルギー満タンで邁進します。

